武　一　中

令和５年４月10日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ５－１号

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

失敗は成功のもと

校　長　　中嶋　建一郎

４月７日の入学式で、120 名の呼名の後に新入生に向けて話した内容です。

入学に当たって、今日は皆さんに「失敗は成功のもと」という言葉の話をしようと思います。皆さんもこの言葉は聞いたことがありますよね。失敗という言葉にはマイナスのイメージがあると思います。誰でもなるべく失敗はしたくないものです。でも「失敗は成功のもと」という言葉は、その失敗をマイナスに終わらせるのではなく、プラスにしようという考え方を表す言葉なのです。失敗をすることで、どうして失敗したのか、その原因を考え、取り組み方法や欠点を改めることができます。すると、かえってその後の成功につながることになるわけです。失敗を恐れて何も行動しないと、自分の何をどう変化させれば良いのかわかりません。成長できず、その後も失敗が続きます。

何かを行おうとしたときに「どうしようかな」「やっぱり、やめておこうかな」と思ってしまうのは、「失敗したら、やだな、はずかしいな」という考えが浮かぶからでしょう。でも、失敗はして当たり前です。失敗から皆さんは多くのことを学び、成長します。何かを行うから失敗ができて、そして成長できる。そんな考えを持ってほしいと思います。

この話をするのは、私も小中学生の時、行動できず、後で考えると「なんでやらなかったのだろう」と思うからです。失敗を恐れていました。ですから、一歩踏み出せない皆さんの気持ちはよくわかります。なので、私は「失敗して当たり前、よく行動したね」と応援したいと思っています。皆さんが、この中学校生活の中で、どれくらい、どんなことを行っていくのか楽しみにしています。

皆さんの先輩に、こんな言葉を残してくれた人がいます。「僕が一中で過ごしてきた中で、他人の失敗をあざ笑う人は見たことがない。」勇気をもらえる言葉ですね。恐れずに行動してみましょう。「失敗は成功のもと」という言葉、記憶に留めておいてください。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

４月６日の着任式・始業式での新２・３年生は、それぞれ一歩成長した雰囲気をもって臨んでいました。着任された先生からは、自己紹介とともに「一緒に一中での生活をより良くしていきましょう」というメッセージをもらいました。

始業式では、「行動すること」について話しました。卒業式での言葉「昨日の夢は、今日の希望になり、明日の現実になる」を取り上げ、夢や目標を実現させるためには、思ったり、考えたりするだけでなく、行動することが大切だという話です。

一中５年目の私も「行動する」を念頭に置いて日々過ごしたいと思います。

一年間、よろしくお願いします。